

平成22年度施策評価表

(平成21年度の振り返り、総括)

作成日 平成 22 年 4 月 16 日

施策No.	22	施策名	社会保障制度の充実
主管課名	社会福祉課	主管課長名	四十万 隆一
関係課名	税務課、市民課、健康センター、		

施策の目的 【対象】	①市で運営している保険制度 (国民健康保険制度、老人保健 医療制度、介護保険制度) ②生活困窮者	対象指標名	単位	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	目標年度 (年度)
		①市で運営して いる保険制度 数	制度	3	3	3	2	2	2
		②生活保護申 請者数	人	13	28	52			
		(うち開始者数)	人	9	23	45			
		(うち却下者数)	人	4	5	7			

施策の目的 【意図】	(対象①) ①適正に運営されている。 (対象②) ②最低生活を保障される。	成果指標名	単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	23年度目標	目標値
		①-1.国民健康 保険一人当たり 医療費	円	342,659	348,646	調査中	450,000		
		①-2.老人保健 受給者一人当 たり医療費	円	817,944	804,818	調査中	745,000		
		①-3.介護保険 利用者一人当 たりの給付額	円	164,808	161,003	166,894	200,000		
		②生保保護率	‰	2.24	2.42	3.21	2.44		

成果指標設 定の考え方	<p>①-1～3.国保や老人医療、介護保険の給付額の推移をみることで、保険制度が適正に運営されているかがわかるので、これを成果指標とした。</p> <p>②生活困窮者のセーフティーネットである生活保護の受給者の推移をみることで、市民の生活の保障が得られているかがわかるので、これを成果指標とした。</p>
----------------	--

成果指標の 把握方法 (算定式等)	<p>①-1～2.国保、老人保健医療担当の市民課の資料により把握。</p> <p>①-3.介護保険担当の社会福祉課の資料(毎年発行している「魚津市の社会福祉」)により把握。</p> <p>②生活保護担当の社会福祉課の資料(毎年発行している「魚津市の社会福祉」)により把握。</p> <p>生活保護率=人口千人あたりの生活保護受給割合</p>
-------------------------	--

施策の成果 向上に向け ての役割分 担	市民	<ul style="list-style-type: none"> ・若いときから自分の健康は自分で守るという意識を持ち、医療や介護を利用しながら高齢となっても自立した生活を送っていただく。 ・自分の生活は自分で守っていただく。
	市	<ul style="list-style-type: none"> ・保険者として市民が必要なときに良質な医療や介護、生活給付が受けられるよう適正な制度の運営を行う。
	その他	

